

2018年8月6日 段取り八分について

※一言要約： 段取りを怠っては、出遅れる。

段取り八分とは、仕事を進める上で、事前の準備がいかに重要かを表した言葉です。仕事の段取りをキッチリしておけば、その仕事は8割完了したのも同然であるという意味です。

特別に言わなくても、冷静に考えれば、当たり前のことと分かりますが、事前に準備をしっかりしていけば、仕事がスムーズに、早く、うまくいくことは分かります。

分かったならば、面倒がらずに、横着しないで段取りをしましょう、結果的に仕事が早くなりますので。

仕事での段取りとは、まず、その業務遂行の目的・狙いを明確にし、期日を定めスケジュールを組みます。次に、業務の具体的内容を明確にし、それらの優先順位を決め、その優先順位に沿って、細かなスケジュールを組みます。

段取りを怠り、行わない場合は、地図を持っていない状態で目的地を目指すという行為となりますので、出遅れることは必然です。十分な下調べと準備で地図・ルートを描き、目的地に進むことが、早道であり近道でもあるのです。

また、段取りをすることは、想定外の事態にも冷静に対処でき、自分達の保有能力と内容を照らし合わせ、スムーズに業務が進められます。このことにより、効率アップも望めて残業が減るところか、仕事幅も広がり、処理する業務も増えていきます。

この段取りを手順化・マニュアル化することによって次からの業務もスムーズに進められますし、担当者が代わっても、一時応援者が担当しても、ミスなく仕事を進めることが出来るようになります。